資料№.２０

新庁舎・ひろば整備事業　庁舎建物の当初計画からの設計変更の概要と経過

企画経営部　政策推進課

1　新庁舎整備にかかる当初計画と見直しについて

整備内容	工事金額（千円）	負担額（千円）	
		市長部局	上下水道局
新庁舎整備	2,500,000	1,430,750	1,069,250
現庁舎改修	110,000	110,000	0
現局庁舎解体	150,000	0	150,000
局倉庫整備	90,000	0	90,000
合　計	2,850,000	1,540.750	1,309,250

・新庁舎の前設計は平成 30 年度末に完了し、上記予算のもと、令和元年 5 月に新庁舎新築外工事の入札を実施しましたが、不調となりました。

・不調の原因は、鉄骨や高力ボルトなどの建築資材や技術者の不足により建築工事の価格が上昇していることや、他の自治体の公共工事においても不調事案が複数発生していることから、設計の見直しを実施することとしました。

・現在、見直し設計作業に着手しており、令和 3 年（2021 年）5 月末までに設計作業を完了する予定です。なお、本設計の見直しにかかる設計費は、上記現予算（28 億 5 千万円）の範囲内で収めるものとします。

2　設計の主な見直し内容について

上記のとおり、新たな基本・実施設計及び新庁舎新築外工事は現予算の範囲内で実施する必要があることから、下記の方針により設計作業を進めることとしています。なお、前設計の基本計画等のコンセプトは、できる限り生かしていきます。

（1）構造の変更

・建物の構造は、前設計では鉄骨造としていましたが、新設計では鉄筋コンクリート造とします。

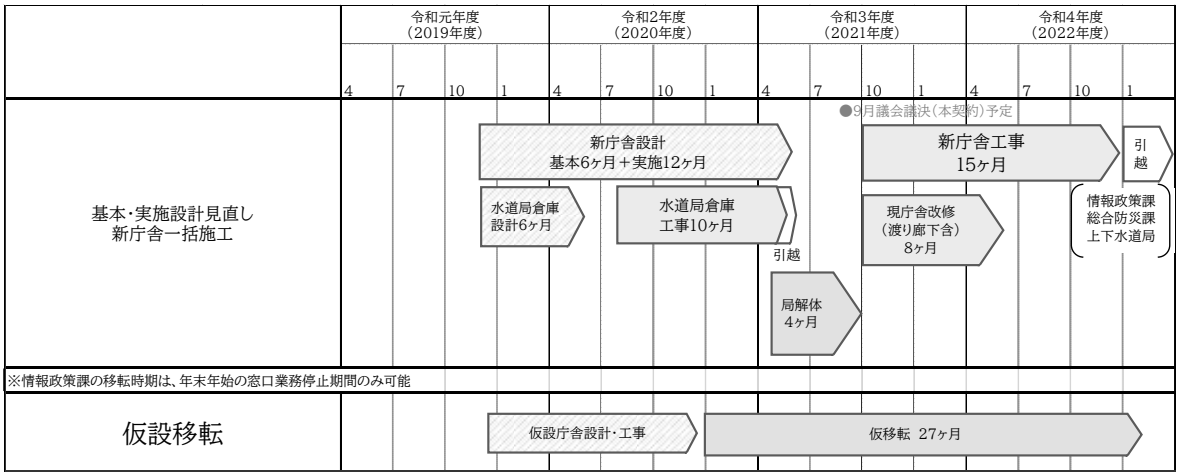
（2）延床面積の削減

・ピロティ部分などを減少させるなど、新庁舎の延床面積を概ね 1/4 程度削減します。なお、上下水道局、危機管理センター、ネットワークセンターの床面積は、前設計と概ね同程度とします。

（3）工期の圧縮

・前設計では 1 期・2 期の分割施工としていましたが、現上下水道局庁舎を先に解体した上で、工期を分割しない一括施工とすることで、工期の圧縮を図ります。

3　設計の見直しに伴う今後のスケジュールについて



・現在の上下水道局庁舎は耐震性が不足していることから、プレハブによる仮設庁舎を建築し、一時的に移転します。